



野網 義一 議員

片山保育園の建替構想は 平成30年度建設大丈夫か

町長 2月に保育施設の整備検討委員会を開催。新園舎は定員100名を設定。用地は約2200㎡必要で30名近い地権者がおられ、皆様のご理解とご協力がどうしても必要になる。用地買収を29年度にしたのは起債が借りられるようにするため、建設そのものは予定通り進める。



片山保育園周辺

老朽化し園児増になった片山保育園の改築計画は昨年の一般質問で、27年度構想、28年度用地買収、29年度実施計画、30年度建設と答弁いただいているが、新年度予算に用地買収の予算が計上されていない。また、構想も一切発表されていない。進捗状況と今後の予定は。

利用者の立場からバス停を タクシー利用に補助を

コミバスの運行が2月1日より見直された。隣町の広神戸駅や揖斐駅に、また、池田温泉にも乗り入れるなど評価できる。役場市橋線市橋コミュニティセンター前も当然バス停に入れるべき。
南回り1号線の最後に新生病院を入れると南部の人も午前中に2回利用でき大変便利になる。
準バス停やフリー乗降区間を設け身近なところで安全に乗れるよう改善すべき。
「ちやちやまる号」の乗降口に手すりを。マイクロバスにはシルバーカーの利用者が多いので補助席を2席ぐらい外して利用しやすいように改善を求める。
コミバスのルートから離れていて利用が困難な人には神戸のようにタクシー利用に対し補助すべき。

町長 変更後一ヶ月たつ、利用者が前年に比べ約1.5倍になった。バス停については、しばらく時間をいただき検討したい。車両の改造については運輸局と協議し対応したい。
運転手さんの休憩時間や労働時間なども踏まえ検討する。

歴史も自慢の 原石、大切に

池田町の魅力の発信のメイン施設となる歴史民俗資料館はなかなか建設されない。大野町のように古民家を活用するのも一案。東町の阿弥陀堂も屋根は崩れ落ちそうだが保存の動きも面白い。山洞の高札場はミナモの看板が付けられ貴重な文化遺産という意識すら感じられない。



補助席につかえて入れない
シルバーカー

町長 28年、29年と空き家調査をするなかで活用可能な物件があれば検討したい。